



城南坂

校長だより No.2
R8. 4. 13(月)
校長：佐々木雄治

学校教育目標 「志と誇りを持ち 主体的に行動する生徒の育成」

3つの「あい」言葉

入学式が終わって1週間が経ちました。昇降口前で登校してくる生徒たちと毎朝あいさつを交わしていると、とても元気なあいさつの生徒や、立ち止まって丁寧におじぎをする生徒の姿が見られ、城南生徒憲章の1つめに掲げられている「あいさつから始まるコミュニケーションを大切にしよう」を城南中生一人一人が実践し、愛される城南中生の姿を表現しているように感じます。

昨年度も同じことをお伝えしましたが、あいさつを交わすにあたっては、日頃から「あ・い・さ・つ」を大切にしよう心掛けてほしいと思います。「あ・い・さ・つ」としたのは、それぞれの言葉に続いてあいさつお作文の要領で、言葉が次のようにつながっているからです。

あ：あかるく
い：いつでも
さ：さきに
つ：ついでに一言（ついでに質問）

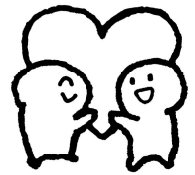
このキーワードのように、明るい声と笑顔であいさつすること、いつでも、何回でもあいさつすること、相手よりも先にあいさつすること、そしてあいさつを交わしたあとに何か一言、声を掛けたり質問したりすること、の4つを実践すると、城南中全体が活性化していきます。特に、4つめの「ついでに一言（質問）」は、初めて話す人や今までなかなか話す機会のなかった人などとのコミュニケーションのきっかけになり、あいさつの後の会話へとつながり、相手をよく知るチャンスとなるので、とても重要です。自分が勝手に苦手だと思っていた人とも、あいさつをきっかけに言葉を交わしていくと、案外気が合う人だったなんてこともよくあるので、ぜひ実践してみてください。

これに加えて、愛される城南中生の姿を表現するために、生徒のみなさんに心掛けてほしいことは「相手意識」と「I（自分）を大切に」の2つです。これらは城南生徒憲章の2つめ「相手を尊重し、自分の良さを大切にしよう」を端的に表現したキーワードです。

「相手意識」とは、自分の言動が相手にどう受け止められるのか、相手にどんな影響を与えるのかを常に意識することです。そして相手にとってプラスになる言動を選択することで、城南生徒憲章の4つめ「互いを思いやり、励まし合い、助け合おう」や5つめ「主体的に行動し、仲間との絆を深めよう」の実現につながります。

また「I（自分）を大切に」は、なりたいたい自分になるために、生活習慣を整え、心と身体を元気な状態に維持した上で、やりたいこと、やるべきことに積極的に取り組み自分自身を成長させることです。これは城南生徒憲章の7つめ「何事にも前向きな気持ちで挑戦する心を育もう」、8つめ「病気やケガに負けない身体づくりを心がけよう」、9つめ「当たり前のことを徹底しよう」に通じる考え方です。特に心が健康でないと人はやる気を失っていきますので、困難に負けない精神力、忍耐力を身に付けるとともに、困ったことや悩み事は一人で抱え込まず、一刻も早く相談して速やかに解決することが重要です。

「あ・い・さ・つ」「相手意識」「I（自分）を大切に」の「あい」から始まる3つの「あい」言葉を体現した姿が、まさに愛される城南中生、愛される城南中学校であり、城南生徒憲章3つめ「心が温かくなる学校をつくろう」、6つめ「伝統を受け継ぎ、新たな歴史を築き上げよう」を達成できている姿だと私は考えます。



<イラストはWebサイト「てがきですの!B」より>

9日(木)5・6校時には、生徒会入会式と部活動紹介式を行いました。生徒会入会式では、1年生144名が城南中学校生徒会の一員として新たに加わり、生徒会スローガン「PEACE～つなげ青春のバトン」のもと生徒会員494名による、令和8年度の活動が始動しました。また部活動紹介式では、全部で19の部活動がそれぞれに工夫を凝らしたパフォーマンスを披露しながら、1年生に活動内容を紹介しました。1年生は明日の部活動ミーティング後、正式に部活動開始となります。